

吉備国際大学大学院 保健科学研究科

平成 26 年度修士学位論文

学生番号	M311301
氏名	坂本 将徳
学位	修士（保健学）
指導教員	佐藤 三矢
副指導教員	藪脇 健司・京極 真
論文題目	認知症高齢者における集団レクリエーション介入による行動・心理症状の変化に関する研究
要旨 (200字以内)	老人保健施設入所中の高齢者 48 名を対象とし、無作為に割り付けた介入群（23 名）に対して 3 ヶ月間の集団レクリエーション介入を実施した。介入群と対照群（25 名）とを比較検討した結果、BPSD・QOL・交流技能において時間とグループとの間に有意な交互作用が認められた。本研究では認知症高齢者に対する集団レクリエーション介入によって BPSD の軽減、QOL や交流技能を維持・向上させる可能性が示唆された。

学生番号	M311402
氏名	堀川 智慧
学位	修士（保健学）
指導教員	原田 和宏
副指導教員	河村 颯治・森下 元賀
論文題目	地域在住の虚弱高齢者における転倒発生と Modified Gait Abnormality Rating Scale により評価した歩行異常性の関連
要旨 (200字以内)	本研究の目的は地域在住の虚弱高齢者における転倒発生と Modified Gait Abnormality Rating Scale (GARS-M) により評価した歩行異常性の関連の検討である。地域在住の虚弱高齢者 42 名を対象に、ロジスティック回帰分析により GARS-M と評価後 2 ヶ月以内の転倒発生との関連が示された。虚弱高齢者の早期転倒発生を判別するために、歩行中に現れる多様な歩行異常性を GARS-M により評価することで、評価後 2 ヶ月以内の転倒発生の予測可能性が示唆された。

吉備国際大学大学院 保健科学研究科

平成 26 年度修士学位論文

学生番号	M311404
氏名	村尾 昌信
学位	修士 (保健学)
指導教員	中嶋 正明
副指導教員	秋山 純一・川上 照彦
論文題目	14 日間の後肢非荷重がラット後肢の遠心性興奮伝播機能に及ぼす影響
要旨 (200 字以内)	本研究では、電気生理学的手法を用いて 14 日間の後肢非荷重がラット後肢の遠心性興奮伝播機能に及ぼす影響を検討した。検討の結果、後肢非荷重によって <i>in vivo</i> における坐骨神経の運動神経伝導速度が遅延することが明らかになった。また、神経筋結合部における興奮伝達の疲労性は変化しないことが明らかになった。本研究によって、非荷重による退行変性が末梢神経機能にも生じていることが明らかになった。